

高松学習館運営協議会（令和5年5月）会議録概要

開催日時 令和5年5月24日（水曜日）午前9時30分～午後12時

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 神山敬章（明星大学名誉教授）

吉田理恵（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

服部裕美（高松児童館）

難波敦子（学習館利用団体）

委任状 橋本登（立川市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

欠席 2名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

議事

1. 会長あいさつ

おはようございます。文化祭作品展には例年より多く来場があった。コロナ感染症が5類に引き下げられて皆さんの意識が変わったのと東京学芸大学の学生さん達の良い影響を受けていろいろとPRに取り組んだ成果と思われる。この会議の時間帯は仕事を持っている委員は出席が厳しいのでそろそろ検討すべきかと思う。

2. 報告事項

・事務局より下記について報告があった。

・文化祭作品展について

作品展総来場者数：516人（5/19～5/21）昨年度の来場者数は423人で93人増えている。難波副会長には苦勞をかけてのぼり旗を製作してもらった。作品展の一週間前位から外に設置した。栗原委員が講師で千代紙人形しおりづくりは好評で53人参加があった。高松児童館の服部館長の指導でプラバンづくりも人気があり51人の参加があった。地域福祉コーディネーターの吉田委員、椿さんと結城委員にはポップコーンづくりを手伝ってもらった。ワークショップのアンケート結果も好評だった。

当日スタッフの感想

- ・高松児童館長の服部委員は親子で大活躍してもらった。楽しみながらやってくれた。地域活動紹介相談コーナーも自然な流れで話をしていたとても良かったと思う。休憩に来て自然にいろいろな話をしていた。
- ・地域活動紹介相談コーナーでは休憩に来た方が地域福祉コーディネーターや社会福祉協議会などについて質問をされてこられた。地域の方々とは直接話ができて大変よかった。皆さんがどういう風に生活をされているか、少し知る事ができてミッションであるご縁をつなぐこと

ができたと思う。これからも地域のいろいろな場に出ていきたい。

- ・ すごく楽しく参加させていただけた。年代を問わず、くるりんに直接会った方達の喜ぶ表情を見られてとても良かった。プラバンも初めて作る方もいて完成した作品をととても喜んでくれたのでとても良い機会になったと思う。高学年の子も久しぶりにプラバン作りに参加していたので児童館に足を運んでくれるきっかけになったらいいと思う。
- ・ 高松学習館に初めて来て施設の中が直線的で片側に会場があるような形状なので、だからこそ活かせる部分があると感じた。
- ・ 文化祭作品展が終わった後にFMたちかわに出演した。栄町若葉町の地域福祉コーディネーターの高橋さんから話をいただいてスマホ教えて会を実施した。学生がボランティア講師で地域の参加者と世代間交流ができた。自治会入会につなげていくねらいもある。FMたちかわのパーソナリティからスマホ教えて会のようなことを文化祭作品展で実施したらどうかと言われた。その発想がなかった。日頃人と接する機会がない方も達成感があり、採り入れていけたらいいと思った。
- ・ 今回の地域活動紹介相談コーナーでもスマホの使い方を教えてほしいと言ってこられたのがきっかけだった。
- ・ 来場者も喜んでくださり開催した方も楽しかったので成功だったと思う。
- ・ スタンプラリーも良かった。初めて実施したが、各会場に足を運んでもらうことになった。たかまつりの旗も何かやっているというPRになっていくので今後も活用していきたい。
- ・ 地域活動紹介相談コーナーも休憩場所に何気なくあり自然な形で話ができる場所になっていたのが良かった。コーナーで区切られていたら敬遠されて人は寄ってこないと思う。
- ・ 高松学習館の空調故障・雨漏りについて
空調の方は部品が6/末までに調達でき修理できる予定。雨漏りについては業者の調査が入ることになっていて修理を依頼している。
暑さ対策として栄町南部自治会よりスポットクーラー2台を借用している。作品展中も視聴覚室と実習室に設置した。

3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

- ・ 地域活性化事業 新たに日程と内容が決定した事業について報告があった。立川女子高等学校クッキング部との連携で子ども対象講座を実施する。
- ・ 事業で使用するお茶菓子代の支出について 代表者会議で議題にしたい。
- ・ 文化祭演奏会について
 - ・ 6/11 演奏会：学習館利用の音楽サークル5団体の発表会
当日スタッフ：梅田会長、難波副会長 集合時間：午後12時30分
 - ・ 6/17 特別コンサート：フルート・ピアノデュオ

当日スタッフ：梅田会長、難波副会長、吉田委員

集合時間：午後 12 時 45 分

- ・ 各学習館のまつり事業(プレも含め)の実施期間についてわかるような一覧表を地運協や生涯審で共有した方がいいという意見があった。お互いに行き来し協力し合えるような関係にするために早急に年間スケジュールを作成していただきたいという要望があった。
- ・ 東京学芸大学との共催事業について
東京学芸大学の学生さんより「クリスマスたかまつり(仮)」企画概要と実施内容案の進捗状況について説明があった。
問題点や検討すべきことについて質疑応答が行われ、一つ一つの企画内容や実施の方法などについて協議された。
 - ・ 必要備品について
 - ・ ツリー：学生さんの方でサイズを確認してもらった後に学習館で準備可能か検討する。借りる方法もある。
もぞう紙や布に描く方法もある。いろいろな種類があるといいかもしれない。ゼロ円マーケットの出品で見つかるかもしれない。
 - ・ 松ぼっくり：ミニツリーまたはオーナメントとしても可能。持ち帰りもできる。
 - ・ たかまっちゃんという高松町のキャラクターを考えてもらうというアイデアは面白い。他の地域で地元の小学校の児童にアイデアを出してもらったキャラクターで上手くいっているケースもある。
 - ・ ハンドベルは児童館より借用可能。児童館の発表会は 20 日頃の前定なので、可能ならたかまつり当日に児童館の子ども達から教えてもらうなど子ども同士で交流したらどうかという意見があった。
当日を発表会とすることも考えられる。(児童館で検討)
 - ・ 市民リーダーさんへの講師の打診(難波副会長が確認)
グリーティングカードづくり、消しゴムはんこなどの指導
 - ・ 内容について 歌うことは問題ない。
 - ・ 飲食について
 - ・ ポップコーンは作品展の時と同様の形で実施可能。
クッキーについては学習館の予算では購入できない。
福祉作業所で作ってもらい、自治連と協力して実施できるが、確認が必要。
(作り手は吉田委員が打診、予算は梅田会長から確認してもらう)
 - ・ 映画会の上映作品決定時期について
 - ・ 児童館と図書館に依頼中。6 月 1 日のうち合わせに報告可能かもしれない。
 - ・ クイズは 12/10 午後に行くため、映画会の要素は観ていない子はわからないので入れなくてもいいのではという意見があった。
 - ・ 予算について

- ・ 紙類などの消耗品は学習館で用意可能。
- ・ その他
 - ・ 図書館のクリスマスおはなし会（12/10 午前に和室で実施）以外の会場は 12/9 と 12/10 は全会場を学習館で確保している。
 - ・ たかまつりクリスマスは 12/10 午後に実施する。
ハンドベル演奏会の時間をいつに設定するかが肝になる。
午後 1 時スタートだと午後 4 時には終了したい。その時間帯の中で可能なタイムスケジュールを組む必要がある。
ハンドベルは体験程度で一音ずつ、指導の子どもがつく形がいい。
ハンドベルは申込制でなくても一会場でフリー参加でもいいかもしれない。ハンドベルの部屋にするなど。
 - ・ 昨年度の冬のたかまつりは事前申込制で参加者を 2 グループに分けて入れ替え制とした。講師側としては時間を決めた中で子ども達に工作などをきちんと完成してもらいたい。材料の準備のこともある。事前申込制にするか当日先着順、整理券配布にするか、検討する必要がある。
 - ・ 気軽に来ているいろいろ体験できるたかまつりということが理想。
アイデアは良いが実際に可能かどうか、人材の面もあるのでシミュレーションしながら組んでいることが大切。
 - ・ 全体は事前申込、参加者をグループに分けて入れ替え制が安心だが、入替の時間は必要となる。フリーで参加できる内容もあるといい。
 - ・ 松ぼっくりは秋以降、学芸大学で入手可。
 - ・ 次回の学芸大学でのうち合わせでさらに実施内容を絞りこんで進めていくことになった。

(3) 地運協交流会の企画について(2/17 開催予定)

- ・ 担当は高松地運協。企画内容について協議した。
 - ・ 前回の話し合いから、各地運協で実施している内容を紹介しながらどういいう連携をされていてどんな課題があるかなどを共有する場にしていくことがいいという意見があった。特別に何か準備をすることはないと思う。
 - ・ 今までは各学習館でどういうイベントを実施しているか発表するというやり方が多かった。活躍している人にフォーカスする具体的に学校や児童館とのコラボ、地域住民との連携ができている学習館の事例発表をしてもらうのはどうか。連携の事例を発表してもらうのがいい。地運協委員、可能なら学芸大学生さんにも参加していただけたらと思う。
 - ・ テーマとしては「地域との連携に関わっている方にフォーカスする」ということで、地域連携に長けている講師に基調講演をしてもらってから、各地運協から事例発表をもらうか（ポスターセッションにするか）、フリートークにするか、時間の割り振りにより、流れについて次回会議で検討する。時間は 2 時間位になると思われる。前回の西

砂での交流会の形式をとると思う。情報交換会ということでもいい。

- ・ 各地運協の自慢話で終るのでなく、次につなげていくにはどういう活動を続けていくかが重要だと思う。高松なら児童館、社会福祉協議会とのコラボ、その一環でどういう連携をしながら広げていくかを全体で共有していけるようにもっていく。地域の人にどう見せるか、ターゲットについて高齢者、子ども、女性などあるが、一つ大きな事例があれば他の地運協も話しやすい。他の地域で実施していることをそのままではなくアレンジしてその地域に合わせて実施するような形で広がっていくといい。
- ・ 連携の部分という話と課題の部分を示していただいてどう解決するかを提言につなげていくということで進めていけたらいいと思う。
- ・ 各地運協の発表となるとあまり話が入ってこない。単なる時間消化的にならないように、共通課題をどのようにもっていくか、企画の段階で時間を決めた中でこのようにしてくださいと提案していきといい。
- ・ 会場は高松学習館の予定だが、人数により市役所会場も確認する。
- ・ 7/21 地運協代表者会議で梅田会長から交流会のテーマ、企画内容について提案する。

(4) 地運協代表者連絡会の開催について(日程は 7/21)

- ・ 研修会や地域学習館の連携について
研修の希望や学習館同士の連携事業について聞きたいことや意見があれば次回の地運協で挙げることになった。会長が集約して伝える。

(5) その他

- ・ 次回の開催日について確認した。

4. 地域課題共有

- ・ 高松児童館：8/5 に夏まつり(ヤンシルフェスタ)を軽食ありで実施する予定。
- ・ 社会福祉協議会：8/初にゼロ円マーケットを実施する予定。マンション防災の講座を企画実施する予定。
- ・ 自治会は総会が終わり、事業推進委員長として市民リーダーの会とコラボできたらと考えている。

・

以上